高知駅周辺都市整備の概要



整備効果

これらの事業により主に次のような効果があります

11ヶ所の踏切除却と新しい幹線道路の整備により、南北交通の安全・円滑が図られます。南口と北口の駅前広場を整備して、鉄道・バス・電車など乗り換えが便利になります。再開発が促進され、高知の陸の玄関にふさわしい、にぎわいのあふれた街となります。南北市街地の均衡のとれた発展により、生活環境・都市機能が向上します。幹線街路、高架側道、公園、広場などにより、都市の防災機能が向上します。

高知の経済・観光の発展へ

JR土讃線高知駅周辺連続立体交差事業

* 踏切の除却により、道路交通がスムーズになります * 事業主体: 高 知 県

平成20年2月26日、JR土讃線高知駅周辺連続立体交差事業における鉄道の高架切替を行いました。

整備概要

・事業名 JR土讃線高知駅周辺連続立体交差事業

・事業区間 JR土讚線(高知市比島町2丁目~福井東町)

 • 事業延長
 4,080m

 • 除却踏切数
 11箇所

事業年度 平成8年度~20年度

・高架化される駅 高知駅、入明駅、円行寺口駅

事業費 約490億円

<連続立体交差事業とは?>連続立体交差事業は、都市部における道路整備の一環として、鉄道の一定区間を高架化等することにより、多数の踏切を一挙に除却し、安全で円滑な道路交通の確保、地域の一体化等を促進する事業です。

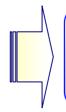
【道路交通面からの効果】

踏切が除却されることにより、踏切遮断が解消され、南北交通の通行がスムーズに!

踏切による渋滞状況(旧相生町踏切)

11箇所o踏切遮断時間o解消

事業前 **26**時間/日



事業後

解消

例えば、相生町踏切では約3時間30分/日の 遮断時間が 0 に!

【安全面からの効果】

踏切が除却されることにより、悲惨な踏切事故を解消!



11箇所の踏切事故発生の解消

過去20年

9件



事業後

解消

【まちづくり面からの効果】

鉄道高架により創出された新たな空間を、市街地における貴重な都市空間として有効活用!

景観に配慮された高架橋下で行われている金曜市(愛宕町)



鉄道高架により創出された高架下を

公園(比島)

高知駅東・西の自由通路

駐輪場(高知駅・入明駅・円行寺口駅)

トイレ(入明駅・円行寺口駅・愛宕町)

金曜市等広場

として有効活用!

北側の側道整備後、高架下を金曜市の通路として利用予定